

年頭所感

秋田県中小企業団体中央会

会長 藤澤 正義



平成30年の新春にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の我が国経済をみると、茂木経済財政担当大臣が記者会見で1965年11月から57ヶ月続いた「いざなぎ景気」を超える戦後2番目の景気拡大となる可能性が高いとの認識を示すなど、緩やかな景気回復が長期にわたって続いた1年となりました。

これは、アベノミクスによる「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」により、経済の好循環が着実に回り始めていることによるものと感じております。

このような中で、昨年10月に衆議院議員総選挙が実施され、自民党・公明党の連立による与党の圧勝という結果となりました。今後は、地方の隅々まで景気回復が確実に実感できるよう、第4次安倍政権には大いに期待するところであります。

さて、今年の中央会の活動方針ですが、昨年に引き続き秋田県中小企業振興条例の理念を実現すべく、全ての会員組合への巡回訪問を一層強化するとともに、収集した問題点・課題について、全職員が一体となってその解決方法を議論し、皆様にご提案させて頂くこととしております。

また、県内の至る所で地域資源や特産品等の販路開拓や新たな加工品開発に積極的に取り組んでおられる企業グループ等の皆様と連携し、今後の事業拡大に向けた取り組みや、問題点の解決について一緒に考え、ご支援させて頂きたいと考えております。

さらに、本会では一昨年より秋田県の委託を受けて「東京でのお土産品開発」に関する事業を実施しておりますが、「秋田のモノ」を「東京で売る」のではなく、「東京で売るモノ」を「秋田で創る」という逆転の発想で事業をすすめており、昨年は実際に開発した商品を東京のKIOSK等でテスト販売をするなど、顧客の生の声を参考にした上で更なる改良を加えており、東京土産の定番となるまで継続して支援してまいります。

私は、日頃から職員に対し、これまでの常識にとらわれず、新しい視点をもって仕事に取り組むよう話をしております。会員組合の皆様におかれましては、どのような些細なご相談でも結構ですので、これまで以上に中央会をご活用頂きますようお願い申し上げます。

さて、今年は「戌年」ですが、犬はお産が軽いとされることから「安産」の年になると言われております。昨年人口が100万人を切った本県ですが、今年は多くの子どもが県内で誕生することを望むとともに、最も有名な秋田犬「忠犬ハチ公」のように、会員組合および組合員企業の皆様が何事にも真面目で勤勉に取り組み、「新商品」、「新技術」など新しい成果をどんどん産み出して頂きたいと願っております。

結びに、会員組合および組合員企業、関係機関の皆様にとりまして本年がご健勝で実り多き年となることを祈念申し上げまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感

秋田県知事

佐竹敬久



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、高齢者のスポーツと文化の祭典「ねりんピック秋田2017」の開催により、全国から多くの選手や観客をお迎えし、本県の魅力を内外にアピールするとともに、大きな経済波及効果も生まれました。

経済・産業面においては、製造業で電子部品・デバイスや自動車等が好調だったほか、個人消費も堅調に推移し、雇用は記録的な高水準となる等、全体として回復に向けた動きが見られたところです。

また、秋田県中小企業団体中央会におかれましては、昨年中も、組合組織の連携・強化に着実に取り組まれるとともに、経営革新計画の策定や「トータルサポートアドバイザー事業」等により企業経営の基盤強化を支援するなど、地域の中小企業・小規模企業者の振興に多大な御貢献をいただきました。

さて、本格的な人口減少社会が到来し、経済のグローバル化が進展する中、AIやIoTなどを活用した第4次産業革命も進行しつつあり、産業や就業構造は大きな変革期を迎えております。このことは、中小企業・小規模企業者も直面する課題であり、本年は環境変化への対応力が問われる重要な年になると考えております。

県では、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」を策定中ではありますが、最大の課題である人口減少の克服に向け、「働き方改革」等により女性や若者の働く場を拡げるとともに、県内産業の「稼ぐ力」の向上や産業人材の確保・育成など、新たな視点を盛り込み、秋田の新時代を見据えた未来投資型の施策を大胆に推進してまいります。

また、「中小企業振興条例」についても今後4年間の取組指針を策定しているところでありますが、小規模企業者の振興を最重要施策の一つと改めて位置づけ、事業承継など企業が抱える諸課題の解決とともに、ICTイノベーションの活用など企業の意欲的な取組を、なお一層後押ししてまいります。

秋田県中小企業団体中央会におかれましては、県内の産業と雇用の基盤を支える中小企業・小規模企業者の頼れるパートナーとしてますます御尽力くださるようお願い申し上げますとともに、会員組合・企業の皆様には、同会をはじめ、県・市町村等の施策も十分に活用し、ぜひ更なる事業発展に果敢にチャレンジいただきたく御期待申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって、希望に満ちあふれた飛躍の年となりますよう御祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会
会長 大村 功 作



明けましておめでとうございます。

平成30年の新春を迎え、年頭に当たりまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も全国各地で自然災害が多発しました。被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

我が国経済は、これまでのアベノミクスの効果により経済の好循環が確実に回りはじめ、景気回復基調にあると言われていますが、地域や業種、事業者の規模によって景況感のばらつきがあり、中小企業・小規模事業者の多くはその実感を得られておりません。加えて、深刻化する人手不足や後継者難、地域の疲弊、頻発する自然災害など、厳しい事業環境にあり、その対応に苦慮しております。

このような状況の中で、地域の経済・雇用を支える我々中小企業・小規模事業者は、経営基盤を強化し持続的な成長に向けて、更なる生産性の向上が求められていますが、そのためには個々の努力とともに、連携・組織化による取組みが一層肝要であると考えます。

こうした中、昨年10月26日に長野県松本市で開催しました第69回中小企業団体全国大会には、全国各地から中小企業団体の関係者2,500名が参集し、「団結は力 見せよう組合の底力！ ～地方創生は連携による地域力アップと強力な発信～」をスローガンに、約27,000の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組むことを決議しました。

全国中小企業団体中央会としましては、中小企業組合等連携組織の専門支援機関として、組合等の連携組織が持っている企業同士の「つながる力」を大いに発揮し、IT利活用、人手不足と事業承継を見据えた人材育成などをはじめとする積極的かつ多面的な支援により、我が国経済及び中小企業・小規模事業者に持続的な成長に寄与すべく活動を展開してまいります。特に、経営力強化・生産性向上、事業承継、働き方改革、消費増税、災害復旧・復興などの重要テーマにつきましましては、皆様のより一層のご支援ご協力を賜りながら適切に対応してまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が中小企業組合と中小企業・小規模事業者の皆様にとって、更なる飛躍の1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成30年元旦

年頭所感

株式会社商工組合中央金庫

秋田支店長 奥田峰利



明けましておめでとうございます。平成30年の年頭にあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

まず、当金庫の危機対応業務の不正行為事案に関しまして、皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。今回の事態は、組織の信頼を根底から揺るがす重大な事態であり、厳粛に受け止めております。当金庫は、二度とこのような事態を発生させることのないよう、ガバナンス態勢の強化やコンプライアンスの立て直しなど、再発防止策の着実な実施に全力で取り組んでまいります。

さて、昨年を振り返りますと、相次ぐ台風の上陸や局地的な豪雨により秋田県内も被害を受けるなど、日本列島は多くの自然災害に見舞われましたが、景気は緩やかな持ち直しが続きました。中小企業の景況感も持ち直しの動きがみられますが、非製造業を中心に人手不足感は強まっており、コスト上昇への懸念が高まっています。また、人口減少時代の本格到来やグローバル化の一層の進展が見込まれ、中小企業の経営ニーズは、益々高度化・多様化することが考えられます。

このような環境のもと、当金庫は、業績や資金繰りに影響が生じている中小企業の皆さまに対しては、セーフティネット機能の発揮に取り組んでまいります。成長支援については、生産性向上を目的とした設備投資、集約化等の事業再構築、人手不足への対応等に関するニーズが見込まれる中、「適時適切な成長資金の供給」、「地域金融機関と連携したリスクマネーの供給」、「海外展開支援」、「M&Aや事業承継支援」、「ビジネスマッチング」等への取り組みにより、中小企業の皆さまの多様なニーズへの対応を強化してまいります。再生支援については、地域金融機関や各支援機関との連携により、経営改善計画の策定支援やそのフォロー、金融取引の正常化支援等に取り組んでまいります。

これら取り組みに加え、真にお客様本位の業務運営を徹底するために抜本的な業務改革を実施し、当金庫の使命である中小企業と中小企業組合の持続的成長とそれを通じた地域経済の活性化に貢献してまいります。「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、お役に立てるよう、支店職員一丸となって努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。